

## 第6学年 道徳科学習指導案

令和6年10月17日（木）第5校時

- 1 主題名 誰にでも偏見の心が 内容項目【C 公正、公平、社会正義】
- 2 ねらい 人を見た目だけで決めつけないで、相手のことを理解するためにはどうすべきか話し合うことを通して、相手の多様な背景を想像し、誰に対しても公正、公平に接する態度を育てる。

教材名 「未来を見つめるまなざし」

(出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

指導内容項目C-（13）は、「誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。」を主な内容としている。

公正、公平に人々に接することのできる態度は、私心にとらわれず、誰に対しても分け隔てなく接し、偏ったものの見方や考え方を避けるよう努めることであると考えます。しかし人は、見た目だけで人を判断し、相手の様々な様子を自分の思い込みで決めてしまいがちである。それは、その人のこれまでの経験やそれに伴う知識が原因ではないかと考える。大人と比べて、まだまだ経験の浅い児童には、相手を正しく判断するための知識が乏しいと言える。そのため、より感覚に頼った判断をしがちである。だからこそ、人を見た目だけで判断してはいけないと理解しつつも、偏ったものの見方や考え方をしたり、自分の感覚による好みで、相手に対して不公平な言動をとったりしてしまうのではないだろうか。

そこで、相手の多様な背景を想像することのできる感覚を磨くことで、誰に対しても公正で公平に接する態度を育てたいと考え本主題を設定した。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

(略)

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、外国人アスリートのような選手を見て、見た目決めつけていた主人公が、父や陽太の話を聞いて、自分の考え方を見つめ直す場面を中心に、悪気はなくても偏った見方をしていることがあるかもしれないことに気づき、無自覚のうちに人を傷つけていることがあるのではないかと自己を振り返ることを通して、ねらいに迫るものである。本学級の児童の実態を受け、本教材から主に次の3つの視点を中心に話し合い、ねらいに迫る。

① 外国人アスリートのような選手が入場した場面

ここでは、外国人アスリートのような選手が入場しているのを見て、その見た目から、すごい走りが見られるのではないかと勝手な期待を抱いてしまうぼく的心情を考えさせる。誰にでも悪気はなくても偏った見方をしてしまうことがあることについて理解を深めることができるようにする。

② 100m走が終わった後の場面

外国人アスリートのような選手が3位でゴールし、裏切られたような気分になっているぼく的心情を考えさせる。また、周りの観客も同じ気持ちであったことにも触れながら、勝手に期待されてしまった側がその気持ちを知ったとき、どのようなことを思うかについて考えさせる。

③ 公園で陽太から話を聞く場面

外国人アスリートのような選手が、陸上競技大会に向けて走り方を研究していたという努力の部分の陽太から聞いた後のぼく的心情を考えさせる。ぼく的心情の変化を考えることを通して、相手を知ることの大切さやよさを考えさせる。

4 学習指導過程

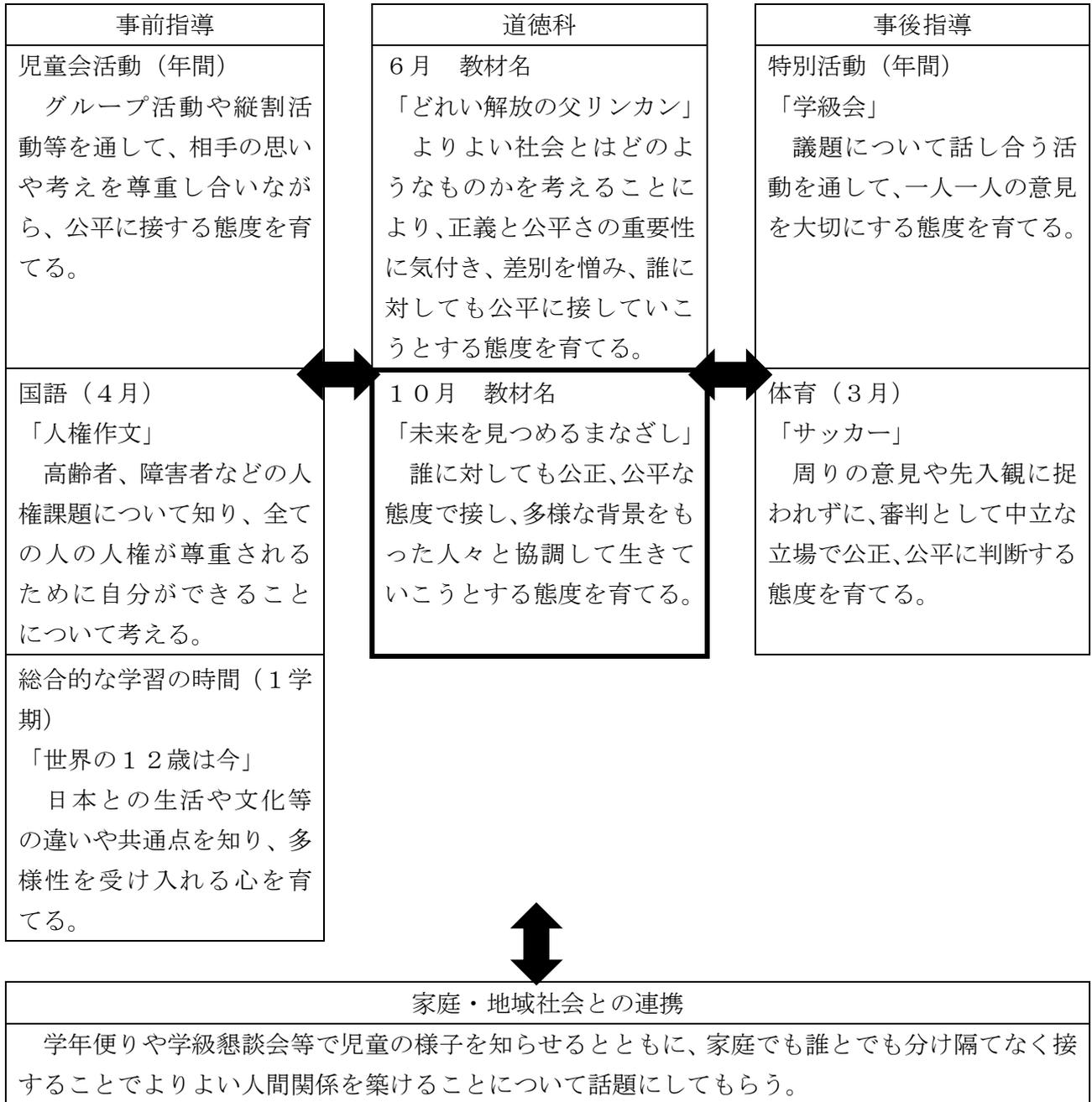
段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価の視点	時間
導入	<p>1 「誰が譲る？」クイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰がおじいさんに席を譲るべきだと考えますか。</li> <li>この場合では、誰がおじいさんに席を譲るべきだと考えますか。</li> <li>それぞれの事情を知ってからでは、誰が譲るべきだと思いますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代女性が譲るべき。</li> <li>男性だから、40代の方が譲るべき。</li> <li>10代男性が周りをよく見て、譲るべき。</li> <li>20代女性が譲るべき。</li> <li>10代男性が他の人と症状を比べたら、まだ我慢できそうだから譲るべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見た目（年齢・性別）から偏った考え方で判断してしまうことあることを体感させる。</li> <li>性別、年代だけでなく、背景を知ったら、意見が変わることがあることを体感させる。</li> </ul>	6
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     見た目だけで、決めつけていませんか。                 </div>			
	<p>2 教材「未来を見つめるまなざし」をスライドショーで再読し、内</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文は事前に各自で読ませ、当日はスライドショーに要約したもので、確認し合いな</li> </ul>	5

展 開	容を押さえ、話し合 う。		がら、物語の全体理解を 図る。	
	① 外国人アスリート のような選手を見 たぼくは、どんなこ とを考えたでしょ うか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一位はこの選手だ。</li> <li>・すごく速そう。</li> <li>・勝てなそう。</li> <li>・陽太より速そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでも悪気はなくても偏見 の目で人を判断してしまう ことについて理解を深めら れるようにする。</li> </ul>	3
	② 100m走が終わって 結果を見たぼくは、 どんなことを考え たでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期待外れだったな。</li> <li>・見た目だけか。</li> <li>・残念。</li> <li>・遅いなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくだけでなく、周りの観客 たちも外国人アスリートの ような選手の走りを期待し ていたことに気付かせる。</li> </ul>	3
	③ 公園で陽太の話を 聞いたぼくは、どん なことを考えたで しょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会のために、そんなこ とをしていたなんてび っくり。</li> <li>・見た目だけじゃ何も分 からないな。</li> <li>・走り方を研究していた なんて、一生懸命だな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰しも、そこまでに至る背景 や努力があるということに ついて理解を深められるよ うにする。</li> <li>・目に見えるものだけで判断を しても、相手のことは計り知 れないことを理解させる。</li> </ul>	3
・なぜ人は、見た目だけ で決めつけてしまう のでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを深く知ら ないから。</li> <li>・自分の思ったことが正 しいと思っているから。</li> <li>・初めて見る人には、期待 してしまうから。</li> <li>・見た目しか判断材料が ないから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偏った考えや思い込みをする のではなく、相手を知ろうと する態度がよりよい人間関 係を築くことができること について希望をもたせるよ うにする。</li> <li>・具体的な場面で例を示すこと で、考えを深められるように する。</li> </ul>	5	
3 教員同士の他己紹 介を見る。 ・相手のことを分かっ ているようで分かっ ていないことがない か考えましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っているようで初め て知る部分もあった。</li> <li>・意外な部分、新たな部分 に驚いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを知っていたら、 見目で判断した時と意見 が変わることに気付かせる。</li> <li>・自分の生活を振り返り、偏っ た見方や考え方をしてしま った経験について、グループ</li> </ul>	8	

<p>展 開</p>	<p>4 「どっちをやる？」クイズをする。 ・給食の時間に欠席していた仲間の仕事を代わりにやろうと思ったとき、仲良しなAさん（日直）と、あまり話したことがないBさん（給食当番）どちらの仕事を代わりにやりますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲がいいからAさん。</li> <li>・給食準備が遅くなると困るからBさん。</li> </ul>	<p>で伝え合いながら、視野を広げ、考えを深める。 ☆教材や日常生活を通して、自分のことを振り返り、身勝手な判断や思い込みが、相手にどう思わせてしまうか、そうしないためにどうしたら良いか様々な視点から考え、話し合っている。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手によって、態度を変えず、誰に対しても差別することなく、接することでよりよい人間関係や集団生活を築くことができることに気付かせる。</li> </ul>	<p>4</p>
<p>終 末</p>	<p>5 自己を見つめ、振り返る。 ・今日の学習で思ったことや考えたことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の勝手な思いや考えで相手のことを決めるのではなく、相手を知ることが大切。</li> <li>・相手のことを、こんな人だろうと予想することと決めつけることの違いが分かった。</li> <li>・決めつけてしまう自分に気付けた。</li> <li>・これからは決めつけている自分がないか心構えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材や経験を通して、本時の課題について、気付いたことや考えたことを書くように助言する。</li> </ul> <p>☆偏った見方や考え方、先入観で相手を判断せず、人はそれぞれ様々な背景を抱えていることを理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接することについての考えを深めている。（ワークシート）</p>	<p>6</p>

	6 教師の説話を聞く。		・「人は見かけによらぬもの」ということわざを紹介し、余韻をもたせて終える。	2
--	-------------	--	---------------------------------------	---

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・教材や日常生活を通して、自分のことを振り返り、身勝手な判断や思い込みが、相手をどう思わせてしまうか、様々な視点から考え、話し合っている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・ 偏った見方や考え方、先入観で相手を判断せず、人はそれぞれ様々な背景を抱えていることを理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接することについての考えを深めている。

7 板書計画

